

## 八幡堀めぐり

近江八幡の旧市街の伝統的な建築物を楽しむには、八幡堀の遊覧船に乗るのが便利である。かつて商業用水路として賑わったこの運河には、白壁の土蔵や風情ある商家が軒を連ね、その歴史を物語っている。江戸時代の風景がよく残っており、タイムスリップしたかのような錯覚を覚えるほどで、時代劇の撮影がよく行われている。

「和でん」と「新町」の 2 社が八幡堀めぐりの遊覧船を運航している。「和でん」のモーターボートに 12 人乗りのものまである。事前予約も可能だが、空きがあれば直接乗船することもできる。夏期は午前 10 時から午後 4 時、他の季節は午後 3 時まで運航している。「新町」には船尾に船頭が乗る手漕ぎボートがある。4～6 人乗りで、乗船は事前予約が必要だ。営業時間は午前 10 時から午後 4 時までで、水曜日とお盆、年末年始は休業。1 月、2 月は金、土、日のみ運行する。

両社とも船は屋根付きで、船内は畳敷きの簡素な造り。乗船するときは靴を脱いで屋根のある部分に入り、畳の上に座る。どのコースも絵になるお堀の中央部分が発着点だが、西端の静かな場所を巡るコースもある。